

メッセージ題「人生を走り抜くために」 <先週の講壇より>

「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。」

ヘブル12:2

出エジプトの時に、背信の民は荒野で毒蛇によって倒れて行きました。しかし高く掲げられた青銅の蛇を見上げた者は、その中から救われました。

十字架を見上げるとは、そういうことです。「そんなことで救われるものか」と疑えば、なにも起こりません。しかしイエス・キリストこそが救い主だと見上げる者、十字架が、そして復活の命が真実だということを仰ぎ見る者は、永遠の救いを得ることが出来るのです。

1984年のロサンゼルスオリンピックの女子マラソンで、熱中症でフラフラになりながらもゴールしたスイス代表のガブリエラ・アンデルセン選手のことを覚えておられる方もおられるかも知れません。誰もがもう無理だと思うその中で、ギリギリの状態でゴールしました。彼女はなぜ走り抜くことが出来たのでしょうか？それは、ゴールだけを見ていたからです。

私たちがキリストだけを見上げて生きるなら、この人生という困難なマラソンをも走り抜くことが出来るのです。



オレンジ郡教会 牧師 榎原のぶ

1984年 ロサンゼルスオリンピック
女子マラソン ガブリエラ・アンデルセン選手

《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年5月30日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榎原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2:15

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

